

### 3. 財政構造

#### (1) 経常収支比率の状況

財政構造の弾力性の程度を示す指標の一つに経常収支比率があります。これは、人件費・扶助費・公債費等の経常経費に、地方税・地方交付税・地方譲与税を中心とした経常一般財源がどの程度充当されたかを見る指標で、この比率が低いほど普通建設事業費等の臨時的経費に充当できる一般財源に余裕があり、財政構造の弾力性に富んでいることになります。

健全化ラインとしては市で80%、町村で75%といわれています。

県内の市町村平均の比率は上昇を続け、硬直化の度合いが高まっています。

